

8月5日に第4回の与那国馬競馬は開催された。

参加馬は、今年の春に出産の任務を果たし、現在授乳中で忙しい身のママさんたちだ。

まずは、参加者の感想をご一読ください。



奈良橋龍成君の感想——動物は、人の気持ちを読み取って、早く走る。



ヨナグニ競馬に出させてくれてありがとうございました。

ヨナグニ競馬に出てわかったことは、乗る人の馬を走らせるという気持ちが強ければ強いほど馬は頑張ってくれることが分かりました。

動物は、人の気持ちを読み取るんだと改めて分かりました。

ウラも練習の時よりは頑張っていたと思います。

本当にありがとうございました。



小泉絵美里さんの感想——ママは強い！ララ(たつ君)VS ファーフア(小泉) のママさん対決。

ファーフアは産後初の騎乗で、まずはレース前に様子見。またがるとのろのろ常歩から、少しずつ自分の走りを思い出したように前へ前へと進みます。安定した駈歩を始めたので、「これならイケる...」と思ったのも束の間、子ども(レキオス)のところへ帰りたがって走行中に何度も方向を変えてしまいました。最初はコントロールするだけで精一杯。しかもコースを2~3往復ただけで汗ダクダクのファーフア。その横ではララ&たつ君コンビが余裕の常歩。う〜ん、こんな調子でレースは大丈夫!?

そして10:00、ついにレースの時間です。

お産で競争世界から遠ざかっていた2頭。最初はレースだということをイマイチ分かっていない様子で、白線の前に並んでも走り出しそうな気配がありません。しかし、さすがに「スタート!」の掛け声には反応し、競争開始です。先手を打ったのはララ。負けじとファーフアも後を追いかけてますが.....残念。ゴール前で少し間を詰めたものの、もう一歩及ばず、でした。

ゴール後、ゼイゼイ肩で息をするファーフアを尻目に、淡々としたララ。「もう疲れたんですけど.....早く子どもの元に返してくれないかしら?」というファーフアの声が聞こえてきそう。でももう一戦行くからね、もうちょっとだけお願いします!

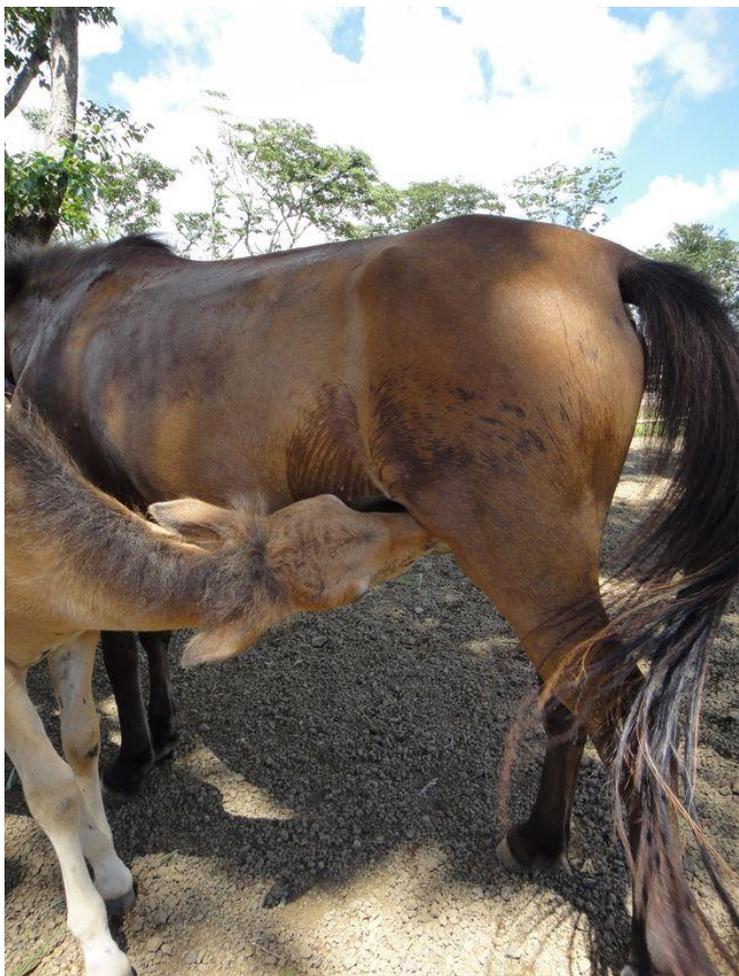
そしてもう一戦。今回は2頭ともいい出だしでしたが、またしてもララ&たつ君コンビに負けてしまいました。完敗です。





終わって放牧場に戻ったら、「待ってました！」とばかりに子どもたちが駆け寄ってきました。レキオスと、モダマ（ララの子）まで一緒になって、先に牧場に入ったファーファの乳を両脇からゴクゴク。いつの間にファーファは2頭のお母さんになったのやら……。走行後に選手たちを和ませてくれた与那国親子なのでした。







初の与那国馬騎乗でどうなることかと思いましたが、なんとか無事に終わられて、一安心。猛暑の中、最後まで一生懸命走ってくれた2頭に感謝です。本当にありがとう。

小泉絵美里